様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 600101	区画整理指導・支援事務	主管課名	都市整備課
この事務事業の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域		
	施策	安全で快適な住環境が整ったまち	課長名	野々山　久照
	基本事業	市街地の整備		

(1)事業の概要

土地区画整理組合に対し、指導・支援を行う.

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	組合事業役員会および準備委員会等の開催数	回
②	みよし市土地区画整理事業補助件数	件
③		

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	三好根浦特定、三好中部特定土地区画整理組合の会議への出席・助言、組合からの提出物の作成補助・審査を行った。
26年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①土地区画整理事業施行地区
②土地区画整理事業計画（準備）地区

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　　称	単位
①	施行中の地区数	地区
②	準備地区数	地区
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①区画整理事業の促進を図る。
②準備委員会の負担を軽減し設立を図る。

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　　称	単位
①	宅地供用率（施行中地区）	%
②	補助額／準備委員会年度事業費	%
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

安全で災害に強い基盤整備をしてもらう

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　　称	単位
①	土地区画整理事業によって整備された面積割合	%
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標 ＼ 年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	回	88	75	80	90	60	60
	②	件	0	0	0	2	2	2
	③							
(6)の対象指標	①	地区	3	2	2	2	1	1
	②	地区	1	1	1	1	1	1
	③							
(7)の成果指標	①	%	93	88	88	88	0	60
	②	%	0	0	0	100	100	100
	③							
(8)の結果の成果指標	①	%	44.1	44.1	44.1	44.1	44.8	45.3
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	08	項	04	目	04

(11)コスト

		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	75	2,174	80	16,550	16,150	12,354
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	75	2,174	80	16,550	16,150	12,354
人件費B		千円	11,075	11,121	11,121	11,121	11,121	11,121
正職員従事時間×人数		時間×人	980 × 3	1,000 × 3	1,000 × 3	1,000 × 3	1,000 × 3	1,000 × 3
正職員以外の人件費		千円						
その他費用C		千円		622				
トータルコストA+B+C		千円	11,150	13,917	11,201	27,671	27,271	23,475
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ 地区	3,717	6,959	5,601	13,836	27,271	23,475
	②	千円/ 地区	11,150	13,917	11,201	27,671	27,271	23,475
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	600101	区画整理指導・支援事務

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
三好第一土地区画整理事業開始に合わせて昭和44年頃　から	地権者の合意形成
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
区画整理事業による市街地整備は面的整備としては有効な事業手法であるため区画整理事業を支援・指導する。	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
□変化していない ■変化している → 変化した内容：地価動向が不安定なため区画整理事業運営費の資金確保が困難となっている。	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	土地区画整理法　７５条	
			この事務を行う根拠又は理由	組合及び組合を設立しようとする者からの技術的援助の申し出による	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	愛知県知事の認可に基づき計画的に事業が進められているため、成果向上の余地はない。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名		
			類似事業との再編の可能性	□ある □ない	内容
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	■ある / □ない → ■現状で適正 / □検討が必要 □受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	■拡大	□改善	□現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	↑　増加	事業費の方向性	↑　増額	成果の方向性	↑　向上
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど	三好中部特定土地区画整理事業が、平成26年度に仮換地指定を行う予定とされており、本格的に事業推進されることから、市としても積極的に指導・支援を行っていく。					